

# 東京形成歯科研究会

## &インプラント国際情報

H.22.9.1 (WED)  
No.9

原稿募集中

### 第98回 日本美容外科学会に参加を終えて

東京形成歯科研究会会員

銀座柳通り歯科クリニック 鈴木正史

#### 〈歯科から美容外科へのアピール〉

2010年6月28日(月)後楽園、東京ドームホテルにて、財団法人日本美容外科学会が主催により、第98回日本美容外科学会が開催されました。(とことん語ろう、学会で)と抄録にもあるテーマの通り、臨場感溢れるシンポジストの方々の熱い議論が交わされました。今回の参加にあたっては、歯科美容外科インプラントの提唱に、東京形成歯科研究会会長奥寺元先生、信州口腔外科インプラントセンター所長北村豊先生の参加があり、私も今回一般演題発表で御一緒させて頂く事ができ、大変貴重な経験をする事が出来ました。

高須クリニックの高須克弥先生と奥寺会長の座長の下、私達は「上下顎過歯槽骨増殖症いわゆるガミーフェイス症例の美容整形的改善」について、デンタルインプラントを用いた症例報告をしました。世界と日本を代表する超一流の美容外科医の中、私達は歯科美容と口腔外科そしてデンタルインプラントについて、大いにアピールする事ができ大変有意義な学会参加となりました。

#### 〈注目を浴びたテーマ〉

高須クリニックの高須克弥先生と奥寺会長の座長の下、私達は「上下顎過歯槽骨増殖症いわゆるガミーフェイス症例の美容整形的改善」について、デンタルインプラントを用いた症例報告をしました。世界と日本を代表する超一流の美容外科医の中、私達は歯科美容と口腔外科そしてデンタルインプラントについて、大いにアピールする事ができ大変有意義な学会参加となりました。

#### 〈プログラムに参加にあたって〉

会長講演、海外演者講演、教育講演、一般演題、特別講演、ランチョンセミナー、シンポジウム等40題の講演と総会が行われました。1日での開催の中、最先端の美容医療に触れる事ができ、濃く充実した内容でした。また器材や業者展示も驚くほど盛況で、歯科では決して見られない興味深い機器や薬品等、新たな視点より大変参考になりました。

奥寺会長、北村所長ともに、モンゴルそして韓国での国際学会参加後すぐのハドスケジュールの中、この美容外科分野発展へ賭ける強い想いから表敬参加されました。過去に遡り、古くは第2回日本美容外科学会に、当会顧問の小嶋榮一先生が、先見の目を持って既に学会参加されており、十仁病院 梅沢文彦先生と親しい御縁がありました。双方、口腔インプラント学の骨再生や組織誘導が重要な共通テーマとの認識の中、口腔顎顔面領域は美容外科学会において重要であり、深く通ずる共有事項が数多く存在する事が明らかにされていきました。そのような経緯から、学会委員長である高須クリニックの高須克弥先生より、歯科美容外科として奥寺会長へのオファーを頂き、昨今、諸外国の交流と共に、歯科と美容外科との益々密な関係へとつながりました。

現在、美容界にてルーチンに行われているPRPにおいても、奥寺会長が日本でも初めて日本美容外科学会誌に論文投稿し紹介された事は既にご承知の通りです。その書籍として2001年にAmnig Gargと共にプラクティカルインプラントロジーとしてPRPの口腔インプラント実践臨床の共著、ロバートE、マックス博士の研究を基に執筆掲載されています。それらの歴史的背景を経て、最近では、脂肪組織の遠心分離等により、更に発展した移植術へと好結果が得られているようでありあります。

#### 〈学会について〉

日本美容外科学会は、日本中の美容外科医が所属する学術団体で、歴史的にはJASとJAPSとの2つの団体が同名として存在します。1つは開業医を主体とする十仁病院の梅沢先生を会頭とする学会、もう1つは大学形成外科系学会です。

今回の学会総会にて、美容医学の繁栄を促すべく、医学、科学の分野は発展進歩するものであるとする原理原則に基づき、2団体の合併統合の方向性が協議されていきました。また、学会編集委員長である赤松隆先生と奥寺会長との対談の中で、歯科との連携の重要性、更なる美容外科界への参加を依頼され、協力関係を確立するに至りました。

#### 〈参加を終えて、今後に向けて〉

21世紀、医学も長寿のみならず健康で良質な生活に貢献する方向へと変容し、世界の高齢化が進み、人々はQOLを考えるようになり、その中で多くの人が美しさへの関心も更に強まり、それらの背景から美容外科は高度医療として認知され発展を遂げて参りました。医学は、治療医学から予防医学へ、更には幸福健康医学からアンチエイジング医学へと時代と共に進歩しています。梅沢文彦先生によれば、良い医学と

は、「患者にとって何が最善か」を熟慮し、医の倫理に従って「学問的医療」に努める事と述べられております。また、高須克弥先生は、「これから美容外科が発展するのは間違いなく、治療医学、予防医学の次にくるものは若さと美しさを追求する美容医学」と述べられております。そして、最後になりますが、忘れて欲しくない心に残る素晴らしい言葉を皆様へ贈ります。「今後も、再生医学を含んだ先進インプラント学は、美容医学と同等、地道な活動を基に、医学的分野をしっかりと歩み確立しなければなりません。今後、これらの分野に開眼する若手を望みます。」と述べられた奥寺会長の言葉

の如く、今後の歯科・美容医療に益々期待し、歯科医療の新しい風となり、発展するべく重要な分野としての取り組みが必要とされております。唇歯輔車 唇周辺と歯は切っても切れない関係 美容外科と歯科は車の両輪

#### 「第100回日本美容外科学会」ジョイント決定

2011年7月23日(土)・24日(日)、東京ホテルオークラで開催の第100回日本美容外科学会にて口腔美容外科セッションを奥寺会長が責任者として運営にあたります。今から各人演題を求めますので応募して下さい。

### コラム

政権交代が行われ、何かが変わるのではないかと期待されましたが、選挙の結果と共に社会はいまだに混乱を続けています。消費税を10%まで引き上げる政策を打ち上げた政党には憤りを覚えます。医療福祉のためという事ですが、歯科医療の現場にあつては全く恩恵に浴さないばかりか、崩壊の一路を辿ることになりかねないのです。

今回の参院選挙の結果はそれに対する国民の怒りの一つの表れと言えるのではないのでしょうか。せめて医療費は全部無税にするか、受診した患者は100%必要経費となれば、それこそ真の福祉国家として評価されるのではないのでしょうか。

歯科は政治判断で差額徴収を現在の「混合診療(自費診療)」に移行した歴史的な経緯があります。それがいまだに患者と診療者に大きな負担を掛けています。消費税が10%になると患者は自由診療を含む先駆的な歯科の治療がますます受けづらくなります。だったら混合診療(自費診療)をやめて保険のみということになりませんが、そうはならないのが

歯科なのです。歯科は医科に比べると保険点数に差があり過ぎます。そして、新規の保険導入はおいそれと許されない土壌があります。仮に導入されたとしても制約が与えられ、利用に当たっては甚だしい抑制がかけられます。一般保険医の疑義解釈で対応してもすべてが認められるわけでもなく、厳しく査定され、その結果によっては行政処分され、現代社会にはマッチしない厳罰が与えられることもあるのです。そうした処罰に対し裁判所からは「確かに不合理な案件であるが、厳罰に当たらない」とする判例も出ています。一体誰が重罪を科すような処罰を作ったのでしょうか。はたまたその問題点を追究すべき歯科医師会や歯科医師連盟は何をしているのでしょうか。学会はその事を追従することなく、学会としての本分を追求するべきです。今回、消費税という国民生活に直接かかわってくる問題を歯科の現状と組織の取り組み姿勢から提言させていただきます。

奥寺元 記

# 東京形成歯科研究会日本口腔インプラント 学会用語集中勉強会に参加して

東京形成歯科研究会会員 世田谷区開業 江崎 友大

## 〈大切な用語〉

平成22年6月12日(土)、13日(日)と2日間にわたり、水上温泉のホテル「水上館」にて、(社)日本口腔インプラント学会用語集勉強会に参加しました。12日(土)は現地ホテルに午後2時集合で、午後3時からすぐに用語集の勉強会が始まりました。用語集はおよそ4,000語あり、何年も前に英語の歯科専用用語が日本語に直してあり、今回はそれを見直し、現代に正確な訳かどうか、間違いがないかどうか、一つ一つチェックしていくものでした。

今回の参加者は東京形成歯科研究会会長の奥寺元先生を始め、名誉顧問でおられる小嶋榮一先生、ならびに現役の大学講師や准教授の先生方数十名がここに集まり、用語をチェックしていくものでした。この勉強会が行われる前に研究会所属の先生に各自担当の用語が割り当てられ、前もって訳が正しいものかチェックし、予習しておく課題が与えられました。

## 〈真剣な議論〉

初日は午後3時から始まり、夕食の1時間半を挟み、途中何分かの休憩は挟むものの、夜中1時近くまで続けて行われました。1泊して翌日の日曜日、朝8時から朝食を食べ、9時からスタートし、その後午後2時過ぎまでぶっ通しで行われました。

## 〈ペテラン味と生き字引〉

奥寺先生、小嶋先生、荻原力先生は特にご高齢にもかかわらず、勉強会を1秒たりとも抜ける事なく最後まで参加し、他の先生方も体力、気力は凄いとしか言いようがありませんでした。本当に一生懸命取り組んでおられました。

## 〈用語を制するものは学問を制する〉

このように、勉強会は長時間とても真剣にまじめに行われ、私自身としてはこれほど勉強したのは受験勉強以来のような気がしてなりません。しかし、色々な歯科、特に歯科インプラントの専門用語をとっても多く知る事ができた事、大学関係の先生方の専門的な用語解釈の意見を直に聞く事ができ、大変価値ある2日間でした。それから奥寺先生、小嶋先生、参加された大学関係の先生、東京形成歯科研究会会員の先生方と東京を離れ、清流のみが聞こえる山の静かな雰囲気の中で一時を過ごすのもとてもいい思い出、良い経験になりました。(社)日本口腔インプラント学会の用語集勉強会という貴重なお時間を頂いた事に心より感謝致します。



用語集勉強会



勉強会参加者

## AAID-JOI に研究論文が投稿される!!

この度、米国で最も権威がありインパクトファクターが高い、AAIDのジャーナルオーラルインプラントロジー D-09-00118.1 に東京形成歯科研究会の一連の研究が認められて投稿されました。演題は

### Crystalline fluorapatite-coated hydroxylapatite; physical properties

一連のフッ素研究に基づいたもので、HAをフッ素処理すると不純物が除去され、結晶性が良くなった事を証明したものです。われわれの地道な研究活動が認められた事に無類の喜びを感じます。それにしても、日本の学会は閉鎖的で投稿論文を誠意もって査読されない事が残念です。

事務局

### Crystalline fluorapatite-coated hydroxylapatite; physical properties

Kazunari Kimoto, Toshimitsu Okudera, Hajima Okudera, William Nordquist, BS DMD MS1,α, and David Krutchkoff

#### Abstract

Crystalline fluorapatite-coated hydroxylapatite (FA-HA) is studied using Scanning Electron Microscopy (SEM), X-ray diffraction (XD), Energy Dispersive X-ray analysis (EDX), and EDX Analysis Mapping (EDXM). Fluoridated HA (fluorapatite) was prepared by reacting resorbable synthetic HA (Osteogen, Implants, LLC) with 4.3% NaF for two minutes. After washing and drying, resultant powder was subjected to physical property analysis using methods listed above. SEM showed little evidence of surface change. Changes, if any, consisted of a slightly more distinct crystalline clarity on the surface of the FA sample. XD patterns showed significant random noise dispersion of the untreated HA sample compared to the lack of noise patterns in the treated FA sample. Characteristic Monetite peaks were noted in analysis of the non-treated HA control sample whereas there was no evidence of Monetite in XD analysis of the treated FA material. It was determined that the fluoridation reaction, as described, served as a purification procedure of the initial HA reagent to eliminate a more soluble Monetite contaminant. Also, the reaction of fluoride ion with surface HA (whether it be from or a combination of dissolution-reapposition or isomorphic substitution) produces a more purified, crystalline FA sample which was characterized by a more characteristic and sharp XD pattern. EDX analysis of the FA sample revealed a fluoride peak at 0.70 KeV that was not seen in the non-fluoridated control. EDX mapping showed an evenly distributed needle crystalline shaped particulate pattern over the entire surface of the FA sample which was lacking in the HA control. From a variety of analytic methods (as described), it was concluded that reaction of synthetic resorbable HA with 4.3% NaF solution at neutral Ph, produces FA coated HA.

Keywords: fluorapatite, hydroxylapatite, infection, peri-implantitis, osseointegration

Received: October 27, 2009; Revised: April 21, 2010; Accepted: April 30, 2010

# 第40回(社)日本口腔インプラント学会発表予定演題

1. 口腔インプラント患者における Dental Drug Delivery System の基礎的検討  
- ナイトガードへのジェル応用による口腔内細菌について -  
主 演 者：田中 かずさ 先生  
共同演者：辻野 哲弘 先生・北村 豊 先生・奥寺 元 先生・木本 一成 先生
2. インプラント上部構造装着におけるエレクトロフォーミング応用 第三報  
- 二酸化塩素配合ジェルによる口腔内細菌への影響 -  
主 演 者：渡辺 泰典 先生  
共同演者：磯辺 和重 先生・西山 和彦 先生・鳥村 勇斗 先生・奥寺 元 先生・木本一成 先生
3. 日歯雑誌 2010 VOL.62 VOL.10 掲載の部分床義歯を考える  
- インプラント治療が第一選択の疑問に答える -  
主 演 者：奥寺 元 先生  
共同演者：小嶋 榮一 先生・古澤 利武 先生
4. 毛細血管観察スコープを用いた歯肉毛細血管網の観察  
主 演 者：鳥村 亜矢 先生  
共同演者：鈴木 正史 先生・田 昌守 先生・川端 秀男 先生・高木 博忠 先生・木下 三博 先生・奥寺 元 先生
5. 多血小板血漿 (PRP) を用いた骨再生療法時の微小循環 (II)  
-  $\beta$ -TPC 系骨補填材応用後の歯周組織血管構築の変化について -  
主 演 者：奥寺 俊允 先生  
共同演者：松尾 雅斗 先生・岩宮 万里子 先生・高橋 常男 先生
7. 多血小板血漿 (PRP) を用いた骨再生療法時の微小循環 (I)  
- 抜歯窩治癒経過における歯周組織血管構築の変化について -  
主 演 者：松尾 雅斗 先生  
共同演者：奥寺 俊允 先生・岩宮 万里子 先生・高橋 常男 先生
8. 顎・口腔機能再建治療による口腔インプラント再埋入症例  
- 40年の臨床より -  
主 演 者：小嶋 榮一 先生  
共同演者：松本 常男 先生・塩路 昌吾 先生・深井 眞樹 先生・奥寺 元 先生
9. リレーディスカッション サイナスリフト長期観察症例  
奥寺 元 先生・古澤 利武 先生

## 東京形成歯科研究会「倫理シンポジウム」

### 企画に参加して

東京形成歯科研究会 会員相模原市開業 秋知明

平成22年5月9日(日)午後1時より、東京歯科大学血腸ホールにて、東京形成歯科研究会主催の「倫理シンポジウム」が開催された。

#### 〈学会倫理規定の尊厳を!!〉

社団法人日本口腔インプラント学会では、会員の倫理、研究倫理及び医療倫理に関連した2つの規定・規則「社団法人日本口腔インプラント学会倫理規定」と「社団法人日本口腔インプラント学会倫理審査・懲戒規則」を整備、改正し平成21年9月25日から施行されている。その中で、現在開業医は医療、研究に際しては基本的倫理観を持ちながら医師の裁量権にて円満に臨床及び研究を行っている。しかし、倫理を重んじるばかり開業医に必要以上に義務を課せられると医学研究の後退や医療を制限される事になり問題が残る。今回オープン勉強会として、この問題等を幅広く意見を聞くという趣旨で企画された。

#### 〈発案者の苦痛の声〉

当日の進行は、最初にコーディネーターの木本一成先生よりシンポジウムの趣旨説明があり、奥寺元先生が3つの議題提案をされ、各界の6名のコメントーターからそれぞれコメントを頂き、その後フロアーを含めてのディスカッションという形式で行われた。

#### 〈コメントーターはこれ以上いない第一人者〉

6名のコメントーターは大学有識者として元東京医科歯科大学歯周病学講座教授で現東京女子医科大学先端生命科学研究所客員教授石川烈先生、内科医病理学者として毛細血管研究会会長の三浦一郎先生、歯科関係者としてユニバーサルインプラント研究所施設長の星野清興先生、ジャーナリストとして月刊デンタルパワー編集長の堀野作二郎様、患者代表として奥寺先生にインプラント治療を受けられた国原利

明様、弁護士として関西大学大学院法務研究科教授の若松陽子先生という錚々たるメンバーであった。

今回のメインの議題である「骨質関連マーカーの血液検査について」に対し、各コメントーターの方々から以下のコメントを頂いた。石川先生からは、エビデンスに基づいた適正な検査であれば問題無い。三浦先生からは、インプラントの経過不良の原因追究は医師の義務である。星野先生からは、安心・安全のインプラント治療において今回のケースは医師の裁量権において認められるべき。堀野様からは、整理されていない現場においてやはり医師の裁量権が十分加味され判断されるべき。若松先生からは、将来的にこの検査が有効なものであれば大いにやって頂きたいと言う事であった。

その後「親の遺言の病理献体について」「開業医の倫理規定のあり方」について議論された。

#### 〈倫理の名の基に学会の行なうべき道に停滞されないように〉

最後に、奥寺先生より各コメントーターの方々に感謝の意を表された。また、フロアーの小嶋先生からの提案で当日奇遇にも「母の日」であり、今回病理献体された奥寺先生のお母様に黙祷を捧げ終了した。



# 「The Internationals Society of Blood Biomaterials 大会」

東京形成歯科研究会が主管される!!

「先端技術と口腔領域の拡大と将来につながる口腔治療を求めての開催」

DR Marx の Bone Symposium の重鎮・ICOI のトップ

DR Richard Kraut 参加決定

名実共に世界のトップが集う!

## Blood Biomaterials (ISBB)

### 国際血液生体材料臨床応用会議 in 横浜

The International Society of Blood Biomaterials (ISBB) インターナショナル会議は、生体適合物質のフィールドに関係する世界中の専門家を集めている、血液に由来成長因子の学会です。

近年、高度先進医療の求めにより、有用な骨形成や軟組織について、再現性や生体反応が良好な状態を求められるようになった。

最先端の医療を駆使してその時代における最高な医療を目指す現在の臨床現場では、骨再生や軟組織再生を絡みながら美容外科・口腔インプラント治療が行われてきた。しかし、未だ発展途上の再生医療の最前線では、その理論の一部は既に臨床応用されているが、多くの臨床家が確信を得て臨床応用されているわけでもない。今まで、日本においても PRP 国際臨床応用研究会が啓発してきたが、十分でなかった。

今回、Blood Biomaterials (ISBB) 国際血液生体材料臨床応用会議が再組織され、より専門性が高い国際的情報の場として活動を行う事により、的確な臨床が提供できる事を目的としての開催である。

国際血液生体材料臨床応用会議 日本事務所代表 奥寺 元

■参加者：海外研究者・海外臨床家・国内大学研究者・国内臨床家

■日 時：2011年2月11日(祝)9:00～17:00

■会 場：横浜国際会議場パシフィコ横浜4F

■参加費：20,000円

[KEYWORDS]

PRP・PPP・PRF・B-MAC・CGF・b-FGF 各種 GROWTH FACTOR 硬組織再生 軟組織再生

■主管：(社)日本口腔インプラント学会認定施設東京形成歯科研究会  
■お問合せ：国際血液生体材料臨床応用会議日本事務所  
〒114-0002 北区王子 2-26-2-3F  
王子歯科美容外科クリニック内  
代表 奥寺元  
TEL：03-3919-5111 / FAX：03-3919-5114  
E-mail：okudera@carrot.ocn.ne.jp

■主 催：国際血液生体材料臨床応用会議

■協賛予定：NPO 法人日本口腔医学研究所 / 日本美容外科学会 / アジア口腔インプラント研究会 / 東京大学 / 東京女子医科大学 / 明海大学 / 台湾陽明大学 / 神奈川歯科大学 / World Federation Preventive Regenerative Medicine(WCPRM)

お申し込み FAX:03-3919-5114

お申し込み	FAX:03-3919-5114	
氏名(フリガナ)	住 所	TEL

東京形成歯科研究会主催

平成23年度日本口腔インプラント学会

**認定講習会募集中!!**

学会専門医取得の近道

東京形成歯科研究会では、リアルタイムの臨床相談や国際学会及び日本各学会への発表指導をベテラン指導医及び教育者により親切丁寧に行っております。